



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Build The Future with Action and Vision

築け未来を行動力と先見の眼で

1996~97年度・国際ロータリーのテーマ/ルイス・ビセンテ・ジアイ会長

◎本日の例会 □卓話 イニシエーション・スピーチ 「It's a small world」

11月22日/第488回例会

当クラブ会員、谷・阿部特許事務所 所長 谷 義一 君

◎先週報告

11月15日/第487回例会

□会長報告

- ①2750地区中村ガバナーより、バンコク地域大会には当2750地区より約520名を超える方々が参加した事に対しお礼状を頂きました。
- ②ロータリー・ガバナー会より斉藤茂之会員が日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会を創設し、多年にわたり全国的な親睦、交流につくされた功績に対し、表彰状と盾が贈られました。

□ロータリー情報委員会報告 (柴本委員長)

「ミニ情報」シリーズとして本日は「ライオンズクラブ」のお話を致します。

「ライオンズクラブ」とは1917年アメリカ、シカゴ市で誕生した。創設者はメルビン・ショーンズ氏(ロータリークラブは1905年同じシカゴで誕生)。スローガンはLIBERTY, INTELLIGENCE, OUR NATION'S SAFETY (自由を守り、知性を重んじ、我々の国民の安全をはかる) その頭文字をとってLIONSとしたものである。

モットーはWE SERVEで、目的は…。世界の人々の間に相互理解の精神をつちかい発展させる

・地域社会の生活、文化、福祉及び公德心の向上に積極的関心を示す

等々でロータリーに大体近いものである。又、職業分類はロータリーと同じく厳格で2名をこえて正会員を同一職業分類に入れてはならないとなっている。現在の規模は参加国179(ロータリー154)クラブ数43,000(28,000)会員数143万人(120万人)、日本ではクラブ数3,200(ロータリー2,200)会員数16万人(13万人)である。

□ロータリー財団委員会報告 (横山委員長)

2750地区ロータリー財団国際親善奨学生(1998~99学年度)募集要項がR財団委員会より来ています。期間は1学年又はマルチ・イヤー(2学年又は3学年)募集人員は約15名、97年1月17日申込メ切りです。候補学生をご紹介下さい。

□慶事披露 ●誕生日祝/吉田用親君 (11月21日)

□出席報告 ●会員68名・出席名50名・欠席18名 (出席規定免除者1名)

ビジター (5名 敬称略)/フィッシャー (オスナブリックRC(独)、吉原一郎(東京RC)、吉田輝彦(葛飾RC)、山口栄一、ファウベル(以上、東京南RC))

順不同・敬称略

11月15日/20件 67,000円

本年度累計 1,058,636円

多額のご寄付を有難うございました。

馬場一廣、佐々木忠行、村山公士、田辺賢三、後藤信夫、渡邊 治、河原勢自、

平井逸夫、宮武保義、入沢頼二、高須康有、相澤成憲、青野信次、吉田用親、

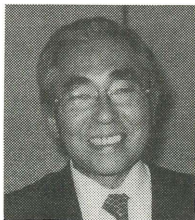
斉藤茂之、横山秀明、加藤昌明、柴田尚毅、宮川弘信、川鍋二朗

紙面の都合上会員のコメントを省略させて頂きました。



□卓話 「ロータリー財団寄付金のマネーフローについて」 11月15日例会

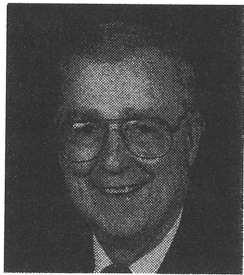
足利東RC会員・87~88年度2550地区ガバナー・92~94年度日本全区R財団コーディネーター 板橋敏雄氏



私が92年~94年度のロータリー財団コーディネーターをしまして、全世界で32名のコーディネーターがエバンストンに集まり、1週間づつ2年間にわたり教育を受けました。色々ありました中で胸を張れたのは、国別の寄付率の時でした。ロータリアンの数は世界の11%であるのに、寄付金のシェアは29%台となっていました。平均の3人分の寄付をしている訳で、なぜ日本はこんなに集まるのか話題が出ました。ヨーロッパから来ているコーディネーターはその目的が良いかどうか、良いと思われる事にしかお金は出さないと考えています。日本人はあの人をしていけば私もしなければといった気持ちでされているのではないかと思います。先日発表された96年6月の一般寄付額は全世界で6478万6千ドルで、その内日本は1774万8千ドル今年の場合には25%程でありました。ロータリアン数は120万6千名の内、日本は12万9千人で平均の3倍近い寄付をしている訳であります。「R財団への寄付金の行方」というフローチャートで説明を致します。寄付金の入り口は4つあります。まず第1はポリオプラスへの寄付で、1985年にスタートし、1988年に12000ドルの目標に対し、24500万ドルの寄付を集めて、一応ポリオプラスとしての寄付はフィラデル・フィア大会で終結の宣言をしています。2000年迄にポリオの発生をゼロとし、それを5年間つづけて2005年についてはロータリーはポリオを撲滅したと宣言を出す予定をしています。2番目は基金への寄付でそれが、ベネファクターであります。次に3番目が一般寄付で3年目に全部使ってしまう寄付であり、ポールハリスフェ

ロー、ミリオンダラーミールと云った一般プログラム用の寄付で、2年間は塩づけにして3年目に使う訳で、3年間の金融的な収益でロータリー財団の職員をはじめ、全部の費用を賄っています。一般寄付として集めたお金はすべて奉仕以外の事には使われていません。一般基金は1992年からワールドファンドが40%、残りの60%は地区の活動資金とするシェアシステムが行われています。我々の寄付を我々がシェアすると云う事で、3年後にどんなプログラムに使うのか地区の選択で60%を使用する訳であります。プログラムの枠で一番大きいのは国際親善奨学金であります。1年単位のものマルチイヤーと云った2年、3年のものがあります。40%シェアの一番大きいのは研究グループ交換で、どの地区でも希望すれば1つ目は基金が出します。2つ目からは地区の60%の中から出す事になります。最後に同額補助金財団負担分があります。4つ目の入口に、クラブの基金を投入すると同額補助金にたまります。例えば、こちらのロータリーから1000ドルを出し、受益国側から1000ドルを出すのと、それと同額の2000ドルがワールドファンドから出される仕組みで、4,000ドルの奉仕活動が出来る事になる訳です。我々のロータリー財団のプログラムは80年の間に試行錯誤を重ねながらも非常に色々として研究しつくされて、本当にかゆいところに手の届くような奉仕が出来るような仕組みが出来てくるようになって来ました。したがってこのお金の流れを頭において頂いて、我々が今ここでポールハリスをやる事ができるように使われてゆくのだというご理解をお一人お一人にたまわる事が出来れば、この日本のロータリーの財団への力はもっともっと強くなるのではないかと思います。本月はロータリー財団強化月間でありましたので、何とか良い成績をあげられますよう心からご祈念申しあげます。(まとめ 柴藤)

◎98～99年度国際ロータリー会長指名される
ジェームス・レイシー氏



米国、テネシー州、クックヴィル
ロータリー・クラブ

1998～99年度
国際ロータリー会長ノミニ
1988～90年度
国際ロータリー理事
1994～97年度
ロータリー財団管理委員会委員

ジェームス・レイシー氏は、米国テネシー州クックヴィルにある投資会社、ジェームス・レイシー&アソシエイツの社長およびケンタッキー州、ニューヨーク州、カンザス州、ジョージア州に工場を置く製菓会社、ギリアム・キャンディー株式会社の理事長です。氏は、長年、地元の政府機関、商工会議所、クックヴィル市政委員会、ブットナム郡クォーター・コートで活躍されました。また、テネシー州議会の議員を2期、務めた方です。レイシー氏は、1964年以来のロータリアンで、クックヴィル・ロータリー・クラブの会員、同クラブの元会長です。国際ロータリーでは、地区ガバナー、国際協議会討論グループ・リーダーとモデレーター、各種委員会の委員と委員長、ロータリー情報研究カウンセラー、理事を歴任されました。ポリオ・プラス・キャンペーンの元全国コーディネーターである氏は、ロータリー財団のベネファクターで、財団功労表彰状の受賞者です。レイシー氏は、現在、ロータリー財団管理委員会委員を務めています。

◎食べ歩きの会報告

11月12日(火) レストラン香味屋

「昔なつかしい洋食
とワインのタベ」



地下鉄日比谷線入谷駅から徒歩8分。古い下町の風情を残した街並みの一角に「レストラン香味屋」はある。間口が狭いのに奥行きが広く、招き入れられた2階は5mはあろうかという湾曲した真白な高天井。そのために作られたのかと思うほど、28人がびったりおさまる広間で、ゆっくりとディナーが始まる。

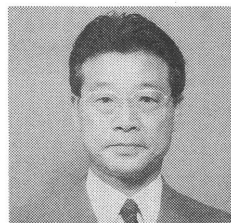
皆待ちかねた鈴木重徳さん秘蔵のワインのスタートは、食前に供される25年もののシェリー酒から。何とも言えない豊かで気品のある一品。オードブルが出されるころには、冷えたシャドネー白。濃い味わいなのにすっきりした切れ味。おいしい。オニオンスープ、牡蠣フライと続き、メインはタンシチュー。ぶ厚くてジュシーで柔らかい。濃いソースに深みがある。おいしい。次ぎ次ぎ出されるワインの仕上げは、シャトマルゴ-86年。独特の繊細で腰の強い伸びやかな味わいはさすが。会話は盛り上がり、幸せな酔いがまわり、午後9時18分、3時間にわたるディナーは終了。

親睦会員の皆様、そして鈴木さん、幸福なひとときをありがとうございました。(小原記)

出席者…相澤、青野夫妻、荒木、後藤、平井夫妻、入沢、石東、河原夫妻、小澁夫妻、牧野、宮武夫妻、小原、佐藤夫妻、四分一、新保、鈴木、高須、武下、立林、渡部、渡邊、吉岡

◎新会員からのメッセージ

小原 渉



〔95年12月1日入会
職業分類 電子応用装置製造〕

昨年の初秋、入沢会員から、ロータリークラブ入会を奨めていただいた時、瞬間、二つの思いが私の頭を過りました。

毎週金曜日の例会に出席できるだろうかという不安感と、一人ではとてもやり切れない奉仕活動を、クラブ活動を通じてなら出来るかも知れないという期待感でした。

もう20年程前の事です。私が電電公社に在席していた時、某電話局長に赴任した野球部の先輩が「歴代局長の引継ぎでロータリークラブに入会したんだが、毎週の例会出席がエライ事でネ。続けられないかもなあ」と云った言葉を思い出したのです。その先輩は、社会人野球部に在籍10年間で、1日も休んだ事のない大変な努力家でしたから、私には、ロータリークラブというのは、エライクラブなんだなあという強烈な印象を受けたものでした。

話は変わりますが、去年は、阪神大震災というとても不幸な出来事が起きました。私の身近でも、会社の役員、社員が少なからぬ被害に遭いました。何か役に立ちたいと、自治省防災対策室で日夜奮闘していた友人に相談して、当時私共で開発中の浄水機をトラックで神戸市内の小学校に運んで、プールの水を生活水にしたり、又神戸商工会議所と共同で、義援金付きテレホンカードを制作してみたりしましたが、心と裏腹に、無力感と焦燥感のみが増幅する毎日でした。

こうした思いの内、昨年12月1日に、当クラブに入会させていただいた私は、今のところ、不安は残念ながらも中し、期待は期待のまま、やがて1年を迎えようとしています。この間、世の中で次々と起る様々な出来事に接しながら、ロータリアンのルーキーとしていろいろな勉強をさせていただきました。一つは、私の拙い経験のような“いざ鎌倉”という奉仕ではなく、常日頃から奉仕の精神を養い、地道な活動を続ける事が大切な事なんだなあ。ということ。また、私共の会社は、情報・通信分野で種々の装置を開発したり、新しいサービスを企画しておりますが、新規性・利便性・利潤の追求という企業の価値観の前に、使っていただく人々や、社会にとって真に役に立つものは何かといった、社会的価値観を優先しなければならない事を、改めて肝に命じている所です。今後共どうぞよろしくお願い致します。

◎お知らせ

- ・会員勤務地変更/柴田尚毅君 (お手元のロースター変更して下さい)
[㈱エヌ・ティ・ティ ファシリティーズ]
〒108 港区芝浦3-4-1 グランパークタワー
TEL.5444-5200 FAX.5444-5630
- ・他クラブ例会臨時変更
東京日本橋東RC→12/9(月)夜間例会 [年末家族懇談会]
東京日本橋RC →12/10(火)年末家族会18:00~
東京日本橋西RC→12/11(水)夜間例会
東京シティ日本橋RC→12/13(金)夜間例会 [年末家族懇談会]

◎次週予告

◎年次総会/次年度(97~98年度)理事・役員選挙

11月29日/第489回例会

◎卓話予定「美味しいものは身体にいい」

マスヒロジャパン代表取締役・料理評論家 山本益博氏

東京新南ロータリークラブ

会長：河原勢自 副会長：保森 登 幹事：荒木昭文
〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004
例会日●毎週金曜日 12時30分
例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

<会報委員>

山下 忠治、大村 富俊、伊部 和夫、大日方 真、柴藤清三郎、相澤 成憲、島田 昌雄、村山 公士、川鍋 二郎、関 征春、宮本 正祥、岩瀬 秀郎
(編集担当順)